

北信新人体育大会 柔道

種目	期日	会場・時間	参加資格及び参加制限	試合形式と注意事項	県大会	申し込み方法等
柔道	10月11日(土) 12日(日)	ことぶきアリーナ千曲 総合体育館柔道場 11日(土) 個人試合計量① 9:10～9:25 審判・監督会議 9:30 開会式 10:00 試合開始 10:15 個人試合計量② 団体試 合終了後 12日(日) 個人試合計量③ 9:10～9:25 審判・監督会議 9:30 開会式 10:00 試合開始 10:15	I. 北信高体連に登録済みの1、2年生 II. 団体試合 1. 男子団体試合 I 部 (1) 1校1チーム、監督1名、選手8名とする。 (2) 高体連登録者数が男子3名以上であること。 2. 男子団体試合 II 部 (1) 1校1チーム、監督1名、選手4名とする。 (2) 高体連登録者数が男子2名以上4名以内であること。 ただし、有段者が3名以下の場合に限り5名以上の登録があってもII部に出場することができる。 3. 女子団体試合 (1) 1校1チーム、監督1名・選手5名とする。 (2) 高体連登録者数が女子2名以上であること。	I 試合形式 1. 団体試合(大会第1日目) ①男子団体試合 I 部 ・各チーム5名による点取り試合、試合ごと5名のオーダーを提出する。ただし登録者数が5名未満のチーム同士の対戦においては、大將から後詰めめのオーダーとする(北信予選のみ適用)。 ②男子団体試合 II 部 ・各チーム3名による点取り試合、試合ごと3名のオーダーを提出、ただし2名でのオーダーは中堅・大將とする。 ③女子団体試合 ・各チーム3名による点取り試合、試合ごと3名のオーダーを提出、ただし2名でのオーダーは中堅・大將とする。 ④その他 ・男女とも全日制・定時制を区別してチームを編成すること。 ・男子団体試合において、I 部に出場したチームはII部には出場できない。II部に出場したチームはI 部には出場できない。 ・各種別ともトーナメント戦(順位決定戦あり)とするが、出場校が6校未滿の場合はリーグ戦とする。 2. 男女個人試合(大会第2日目) ・トーナメント戦で行う。 ・計量は第1日目・第2日目ともに9:10から9:25及び第1日目団体試合終了後に行うのでいずれかで合格すること。なお計量時の服装は男子「上半身裸」、下は「短パン」、女子「上半身Tシャツ」下は「短パン」とする。 II 競技規則 競技規則は国際柔道連盟試合審判規定及び令和7年度全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。試合時間は男女団体・個人試合ともすべて4分とする。団体試合における優劣勝ちの判定基準は、「有効」または「僅差」とする。なお、僅差は「指導差2」とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。個人試合及び団体試合代表戦における「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」以上とする。なお、僅差は「指導差が2」とする。同等の場合は、延長戦をゴールデンスコア方式(時間無制限)で行う。延長戦に入った場合、従来通り「有効」以上もしくは指導差がでた時点で勝敗を決する。詳細は、大会当日の審判監督会議にて確認する。 III その他 1. 柔道着の背部にゼッケンを縫い付けること。 縫い付け場所は襟から5～10cmのところに着けン上部ができるようにし、強い糸でしっかりと縫い付けること。サイズは横30～35cm・縦25～30cmとする。姓は上側2/3、校名は下側1/3の部分にゴシック体(または楷書)、男子は黒色、女子は濃赤字とする。 2. 各校監督は、全日本柔道連盟通達「コーチの振る舞い」を確認し、これに準ずること。	I. 団体試合 各種別ともオープン参加 II. 個人試合 男女とも各階級8位まで ※個人試合において、8名に満たない地区が出た場合は、他地区より補充する。	I 認知書 1. 男女別の用紙で申し込むこと。 2. 「認知書入力上の注意(柔道)」をよく読んで入力すること。 3. 入力した認知書(エクセルファイル)は、北信高体連事務局への送付と同時に、必ず柔道専門委員長野俊英高校・竹内琢美先生へ認知書ファイルを添付し、メール送信すること。 メール送信先 n.syunei.h.s.judo@gmail.com

【北信高等学校顧問各位】 高等学校体育連盟の諸活動に、頭髮の染色・脱色・パーマ等や、装飾のピアス・ネックレス・指輪等はそぐわないものとして、その対象生徒の大会出場を制限します。したがって、各学校におかれましては、専門部の協力を得て指導され、地域社会からも十分な評価と応援が得られる大会となりますよう、ご協力をお願いします。